

現代百合学概論

Overview of modern lilics

高名 典雅[†]

現代百合学概論製作委員会[‡]

2020 02/15

ver 0.0.1

[†] 正弦工社 (<https://seigenkousya.github.io/>) <seigenkousya@outlook.jp>

[‡] 現代百合学概論製作委員会 (https://github.com/Seigenkousya/Overview_of_modern_lilics)

序章

本稿では、現代（特に、2010 年代以降）における百合作品の評論、分類を行い、また作品が社会に与えた影響や文化の変遷を追う現代百合学を掲げ、その礎として本稿をオープンソースで公開し^{*1}広く意見を集めるものとする。

よって本書の内容は常に可変的であり、ソフトウェアのようにバージョンがつけられ完成することなく自由な議論の元編集されつづける。

^{*1} https://github.com/Seigenkousya/Overview_of_modern_lilics

目次

序章	i
第 1 章 現代百合学とは何か	1
1.1 現代百合学の定義	1
1.2 第二の節の見出し	3
1.3 百合学	3
第 2 章 現代的な百合作品の起こりとその変遷	5
2.1 フォント・文字装飾など	5
2.2 囲み枠	5
第 3 章 現代的な百合作品群が人々に与えた影響	7
3.1 購読層の変化	7

第 1 章

現代百合学とは何か

この章では現代百合学 (modern lilics) における現代的な百合の定義について論ずる

1.1 現代百合学の定義

本稿の表題は現代百合学である。

では、現代百合学とは、何を対象にした学問なのか。

現代百合学は、現代（特に、2010 年代以降）の百合作品群の特有の作品の傾向や文化を明らかにし、分類し体系化することでより作品に対する知見を深めるとともにより良い作品との出会いを求める学問である。

現代百合学で扱う範囲は以下の通りである。

- 現代的な百合作品の特色
- 現代的な百合作品の変遷
- 現代的な百合作品の分類

- 現代的な百合作品の購読者層
- 現代的な百合作品における登場人物の関係性

1.1.1 最初の小節の見出し

ここには最初の小節の文章が入る。ここには最初の小節の文章が入る。ここには最初の小節の文章が入る。ここには最初の小節の文章が入る。ここには最初の小節の文章が入る。

最初の小々節の見出し

ここには文章が入る。ここには文章が入る。ここには文章が入る。ここには文章が入る。ここには文章が入る。

段落の見出し ここには文章が入る。ここには文章が入る。ここには文章が入る。ここには文章が入る。ここには文章が入る。ここには文章が入る。

とってもとってもとってもとっても長い段落の見出し ここには文章が入る。ここには文章が入る。ここには文章が入る。ここには文章が入る。ここには文章が入る。

1.1.2 第二の小節の見出し

ここには第二の小節の文章が入る。ここには第二の小節の文章が入る。ここには第二の小節の文章が入る。ここには第二の小節の文章が入る。ここには第二の小節の文章が入る。

1.2 第二の節の見出し

ここは第二の節の文章が入る。ここは第二の節の文章が入る。ここは第二の節の文章が入る。ここは第二の節の文章が入る。ここは第二の節の文章が入る。

入る。

1.2.1 第二の小節の見出し

ここには第二の小節の文章が入る。ここには第二の小節の文章が入る。ここには第二の小節の文章が入る。ここには第二の小節の文章が入る。ここには第二の小節の文章が入る。

1.3 百合学

では、百合学では何を行うのか。

現代的な百合作品の起こりと その変遷

2.1 フォント・文字装飾など

太明朝体・ゴシック体・太ゴシック体・極太ゴシック体・丸ゴシック体

2.2 囲み枠

囲み記事の文章がここに入る。囲み記事の文章がここに入る。囲み記事の文章がここに入る。囲み記事の文章がここに入る。囲み記事の文章がここに入る。囲み記事の文章がここに入る。囲み記事の文章がここに入る。

参考 短い参考情報を提示するときのために使う。

ソースコード 2.1 簡単なプログラムの例

```
1      x <- c(24, 23, 15, 52, 63)
2      mean(x) # 平均を計算
```

第 3 章

現代的な百合作品群が人々に与えた影響

この章では現代的な百合作品群が人々に与えた影響について論ずる。

3.1 購読層の変化

現代的な